

第64回 全国植樹祭 鳥取県実行委員会

第9回総会

日 時 : 平成26年3月23日(日)

場 所 : とっとり花回廊

次 第

1 開会

2 あいさつ

3 協議事項

- (1)平成24年度事業報告、決算報告について
- (2)平成25年度事業報告、決算報告について

4 報告事項

- (1)実行委員会の残余財産の処分について
- (2)自由植樹の実施と限定解放について
- (3)とうほく・とっとり森の里親プロジェクトについて

5 実行委員会の解散について

6 閉会

添付資料一覧

- 資料 1 第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会平成24年度事業報告(案)
- 資料 2 " 平成24年度収支決算(案)
- 資料 3 第64回全国植樹祭の開催状況
- 資料 4 第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会平成25年度事業報告(案)
- 資料 5 " 平成25年度収支決算(案)
- 資料 6 実行委員会の残余財産の処分について
- 資料 7 自由植樹の実施といやしの森限定開放について
- 資料 8 とうほく・とっとり森の里親プロジェクトについて

第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会 平成24年度事業報告(案)

1 実行委員会等会議運営

総会 3回

幹事会・専門委員会 11回

市町村等連絡調整会議 4回

2 大会広報

プレイベントの実施

PRグッズ作成

カウントダウン・地域緑化イベントの実施

3 実施計画等策定業務

実施計画策定業務

実行委員会総会において、決定した「第64回全国植樹祭実施計画」が平成26年2月8日(水)に開催された国土緑化推進機構主催の全国植樹祭特別委員会において、承認された。

宿泊・輸送計画策定業務

4 会場整備

お野立所の建築

式典・植樹会場整備(芝張り、バス周回路整備 など)

5 大会協賛の推進

大会の実施に要する資金や物品

第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会 平成24年度収支決算(案)

(収入の部)

単位:円

科 目	予算額	決算額	差 引	内 容
前年度繰越金	6,589,155	6,589,155	0	
負 担 金	146,891,000	146,891,000	0	鳥取県負担金
協 賛 金	9,650,000	18,315,500	8,665,500	協賛金 近畿中国森林管理局協賛金
雑 収 入	1,509,845	1,515,822	5,977	預金利息、緑の募金交付金
合 計	164,640,000	173,311,477	8,671,477	

(支出の部)

単位:円

科 目	予算額	決算額	差 引	内 容
会議運営費	2,442,000	1,426,622	△ 1,015,378	後催県指導会議、実行委員会、幹事会、専門委員会運営費(旅費・報償費・会場借上料 ほか)
大会広報費	29,225,000	22,173,533	△ 7,051,467	PRグッズ作成費、プレイベント経費 ほか
基本計画等 策定業務費	115,806,000	99,578,355	△ 16,227,645	実施計画作成業務委託 宿泊輸送実施計画作成業務委託 ほか
事務局運営費	7,517,000	3,432,110	△ 4,084,890	ボランティア編成・運営 本部員研修費 ほか
平成25年度へ 繰越	9,650,000	0	△ 9,650,000	
合 計	164,640,000	126,610,620	△ 38,029,380	

収入・支出差引 = 173,311,477円 - 126,610,620円 = 46,700,857円
(次年度へ繰越)

監 査 報 告 書

第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会

会長 平井 伸治 様


平成24年4月1日から平成25年3月31日までの会計年度における収入及び支出について、帳簿並びに支出証拠書類等の関係書類を監査した結果、適正に処理、記載されていると認める。

以 上

平成25年6月28日

第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会

監 事 鳥取県会計管理者

三田 清人 

1 大会の開催状況

天皇皇后両陛下のご臨席のもと、5月25日（土）・26日（日）に開催した第64回全国植樹祭は、出演者やボランティアなど多くの県民に支えられ、盛会に終えることができました。

(1) レセプション

- ・県内外の関係者や鳥取県の東日本大震災被災3県（岩手県、宮城県、福島県）の代表者、ボランティアを招待。



主催者あいさつ（平井知事）



ご歓談

(2) 第64回全国植樹祭

① 式典行事

- ・プロローグ…「森・川・海」のつながりや森や木と共生することの大切さを集団演技や創作劇「大山森話（だいせんしんわ）」で表現。



みどりの少年団による集団演技



↑
←創作劇「大山森話」



・記念式典…天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き、大会テーマ表現など。



天皇皇后両陛下のお手植え



天皇皇后両陛下のお手播き



大会テーマ表現



東日本大震災復興支援（苗木の目録贈呈）

・エピローグ…全出演者、全招待者が一体となったフィナーレ



出演者全員が登場



鳥形風船の放天

① 植樹行事



とっとり花回廊いやしの森



奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森

② 式典会場内のおもてなし広場と米子駅前だんだん広場でのおもてなし



式典会場内のおもてなし広場



みどりと食の広場(米子駅前だんだん広場)

2 参加者数

区 分	参加者数	備 考
レセプション (25日、大山ロイヤルホテル)	333人	(内訳) 国土緑化推進機構の推薦者182人 鳥取県実行委員会会長の推薦者151人
式典行事及び植樹行事 (26日、とっとり花回廊ほか)	4,740人	(内訳) 県外招待者1,030人 県内招待者3,710人
ここでも植樹祭!!みどりと食の広場 (26日、米子駅前だんだん広場)	5,912人	
合 計	10,985人	

3 参加者、出演者の感想

○公益社団法人国土緑化推進機構

第64回全国植樹祭は、天候にも恵まれ、五月晴れの下、「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」という大会テーマの精神とともに東日本大震災復興支援の取組を全国に発信するなど、極めて盛会裡に終了したことを大変嬉しく思っています。

○式典行事の出演者

- ・参加者がいい思い出になりましたと喜んでいました。よい出会いをいただき、本当に感謝しています。
- ・スタッフの方が本当に良い方できめ細やかに対応していただき、感動しました。
- ・大きな大会で、準備がとても大変だったと思いますが、参加させていただけて、本当に良かったです。

○招待者

- ・大山のふもとに広がる自然は素晴らしく、その風土を守る活動を、鳥取県民ぐるみで進めていることも感じました。
- ・大きく育ち緑いっぱいの森になった姿を、いつか家族で見に戻って来たいです。
- ・これを機に庭に木を植え、緑の豊かさを実感したいです。

(式典行事)

- ・オープニングアトラクション、メインテーマアトラクション、エピソード全てにおいて大変良かったです。特に創作劇「大山森話」の主役には皆さんが惹きつけられました。
- ・東北3県（岩手県、宮城県、福島県）と苗木育成を通じた復興支援、絆を深める情報発信が行われたことは大変良かったです。

(施設関係)

- ・トイレも先催催に比べて多く、ミスト機械の設置が良かったです。
- ・お野立所は自然な木肌（無垢）であってほしいという気持ちもあるが、素晴らしいと感じました。
- ・式典会場内のベンチは3人掛けで、ゆとりがあって良かったです。

(両陛下のお手植え)

- ・客土が堅くて両陛下が鍬でたたいて土を砕かれる姿は、ほほ笑ましく思えました。
- ・招待者の全てが手袋着用による植樹であったのに両陛下のみ素手であったことが何となく気の毒に思えた一方で、自然な姿を見せていただき良かったのではとの思いが混じっています。

(スタッフの対応)

- ・どこでも笑顔で対応していたのには好感が持てました。
- ・たくさんの実施本部員やボランティアの方から挨拶をいただき心地よく、迎えていただきました。
- ・トイレの誘導係が空きを案内し、混雑が緩和されていました。
- ・車イスでの参加はとても不安でしたが、担当添乗員さん、会場に着いてからのボランティアさんには温かく、気くばりをしてくださいました。おかげさまで元気と勇気、力、感動をいただきました。

(植樹行事)

- ・植樹作業が終わって退場すると数十秒後にはバスが目の前に停まるという、素晴らしいオンタイムの誘導でした。細部にまで行き届いた配慮があらこちらで感じられました。ありがとうございました。
- ・午前植樹に参加しましたが、植樹会場から式典会場までは花回廊の中を歩いたので会場までの距離が短く感じられ良かったです。
- ・午後植樹に参加しましたが、式典を見た後でもあり植樹会場までが非常に長く感じました。
- ・植樹ボランティアの植樹説明は良かったです。

第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会 平成25年度事業報告(案)

1 実行委員会等会議運営

総会、専門委員会の開催

2 大会広報

カウントダウンイベントの実施

PRグッズの作成、屋外広告物の設置

開催特集号(新聞)の発行

3 会場整備

式典会場の整備(飾花、御歩道などウッドチップ舗装 など)

4 県民運動「とっとりグリーンウェイブ」の推進

とうほくとっとり・森の里親プロジェクトの推進

美鳥の大使活動の普及

(大会直前の美鳥の大使一斉活動の実施など)

自由植樹の実施(全国植樹祭後)

5 大会実施

リハーサル、式典、おもてなし広場、レセプション、
宿泊輸送

6 大会記録の作成

記録誌・記録DVDの作成

7 御製碑の設置・メモリアル展示

**第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会
平成25年度収支決算(案)**

資料5

単位:円

(収入の部)

科 目	予算額	決算額	差 引	内 容
前年度繰越金	9,650,000	46,700,857	37,050,857	
負 担 金	392,394,000	392,394,000	0	鳥取県負担金
協 賛 金	0	5,699,265	5,699,265	9社(100万円:4社、50万円:2社、50万円未満:3社)
雑 収 入	15,000	7,827,532	7,812,532	国土緑化推進機構負担金525万円、緑の募金交付金250万円、預金利息 ほか
合 計	402,059,000	452,621,654	50,562,654	

(支出の部)

単位:円

科 目	予算額	決算額	差 引	内 容
会議運営費	645,000	30,525	△ 614,475	総会 ほか
大会広報費	15,485,000	24,596,538	9,111,538	PRグッズ作成費、カウントダウンイベント経費、のぼり等設置費、記録誌作成費、メモリアル展示 ほか
大会運営費	384,583,000	383,773,699	△ 809,301	仮設工作物設置・撤去、大会運営経費、リハーサル経費、レセプション経費、輸送経費 ほか
事務局運営費	1,346,000	2,187,057	841,057	ボランティア編成・運営 コピー機使用料 ほか
合 計	402,059,000	410,587,819	8,528,819	

収入・支出差引 452,621,654 円 — 410,587,819 円 = 42,033,835 円
(残余財産)

残余財産の処分について

第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会会則第17条第2項の規定により、残余財産は鳥取県に帰属するものとする。

名 称		数 量		
現 金	現金	42,033,835	円	
メモリアル 展示関係	壁面パネル(大)	1	台	ベース…杉 ポリ合板貼り仕上 ※6分割 表面…インクジェットシート貼り
	壁面パネル(小)	2	台	ベース…杉 ポリ合板貼り仕上 表面…インクジェットシート貼り
	案内サイン用パネル	1	台	ベース…杉 ポリ合板貼り仕上 ※引掛け式 表面…インクジェットシート貼り
	外壁部案内看板	1	台	ベース…Jパネル 切り文字
	お手播き箱用展示ケース	1	台	天板…強化透明ガラス(飛散防止フィルム貼り) 側面…透明ガラス(飛散防止フィルム貼り)
	記念切手用ガラスケース (台座付き)	1	台	ケース 透明ガラス(5面)
	御机用展示ケース	1	台	天板…強化透明ガラス(飛散防止フィルム貼り) 側面…透明ガラス(飛散防止フィルム貼り)
	御机展示台	1	台	杉材使用
	鍬展示ケース	1	台	杉材使用 地袋両扉(鍵付) ガラス展示ケース(飛散防止フィルム貼り)
木製品	御机	1	台	付属品 天板 木製
	演台	2	台	木製
	シンボル台	2	台	木製
	お手播き箱	2	台	付属品 蓋付き箱4セット 木製
	御鍬	4	本	木製
セキュリ ティ関係	室内監視カメラ	3	台	
	屋外監視カメラ	1	台	
	デジタルビデオレコーダー	1	台	
	液晶モニター	1	台	
御製碑・お 手植え樹	御製碑	2	基	
	説明碑	1	基	
	配置碑	1	基	
	景石	1	基	
	お手植え樹	6	本	
	関連施設	1	式	
その他	トッキーノ着ぐるみ	4	体	
	トッキーノ商標権	1	式	
	トッキーノ著作権	1	式	

【会則】

第17条

2 実行委員会が解散するときに有する残余財産は、鳥取県に帰属するものとする。

自由植樹の実施と限定開放について

～とっとり花回廊いやしの森～



自由植樹の実施

- 大会で植樹会場となった「とっとり花回廊いやしの森」で、全国植樹祭に参加できなかった皆様にも植樹を体験していただける「自由植樹」を開催

【開催日】平成25年6月1日(土)～4日(火):(4日間)

【概要】一般公募で集まった約140名の参加者が、シバグリ、クロモジ、コナラ、ヤマガキを合計400本植樹



限定開放の計画

- 大会で植樹された苗木の保育整備(下刈り等)を実施
- イベント的に開放して保育の大切さや森の生長を県民が体感できる機会を確保
- ボランティアによる下刈り作業も一部で行い、とっとりグリーンウェイブを継承



とうほくとっとり・森の里親プロジェクトについて

～東日本大震災復興支援の取り組みをスタート～

- 津波で失われた海岸防災林の再生を支援するため、全国植樹祭記念式典で、東北三県へ苗木の目録を贈呈
- H25年11月上旬、東北三県に美鳥の大使を派遣し、地元の方々と植樹活動実施
(各県とも約200本が里帰り)
- 新たな種も預かり、当面、この活動を継続実施



H25.11.1 岩手県陸前高田市
米子市立車尾小学校派遣

H25.11.9 福島県須賀川市、宮城県岩沼市、H25.11.10 宮城県女川町
平井伸治鳥取県知事、八頭町立丹比小学校、琴浦町立八橋小学校派遣